

塩尻東地区

日付：令和5年7月28日（金）

場所：塩尻東地区センター

会場：23名 オンライン：7名

出席者：市長 企画政策部長 建設事業部長 企画課長 都市計画課長 企画係長 計画係長 企画係1名 デジタル戦略課1名 計画係1名

グループごとの発言

■ グループ①

- ・ 地区では少子高齢化の波が容赦なく押し寄せていて、非常に高齢化率が高くなって子ども数が少ない。このようなことは日本中そうかもしれないし、塩尻市あるいは塩尻東地区に限った問題ではないと思う。そういうことに対して長いこと嘆いてきたが、具体的に何かしてきたか、というところほとんど何もしてきていない。流れるままにしてきた中で、今後は具体的に都市計画、地区計画で、市街化区域にするなど何かしらの手を打っていくことが大事ではないか。
- ・ 子育て施策は非常に充実しているが、その以前の部分、独身者が非常に増えていてなかなか結婚しない晩婚化について市政で何かしら手が打てないのか。

■ グループ②

- ・ どちらかという、都市計画というものがあるということ自体が、市民にそんなに認識されていないのではないかと思う。
- ・ 先ほど3,000人のアンケートを取ったということだが、それは本当に人口の数%でしかない。どうしてDXが進んでいる塩尻で、もうちょっと大きなアンケートができないのかと思う。
- ・ 塩尻東地区の現状の問題について考えていただいているが、失礼な言い方になるが、この分析では問題解決ができるようなものではないのではないか。
- ・ 塩尻東地区は自然が豊かでありたいところだと思う。一番いいのはアクセスがいいところで、いろんなところに行きたいときにすぐ行けるという利便性は高いと思う。ただ、通過点になってしまっている。散歩をしていると、住宅から少し離れて田園が広がっていて、小坂田公園に行くと自然を満喫できるというのは非常にいい所だと思う。これをどう生かしていくかだと思う。
- ・ 地区として要望を挙げているが、市役所から解決策や対応がなかなか思い通りに来ないというような意見も出た。そういうところも考えていただければと思う。
- ・ 問題は、高齢化になっているということで、例えば隣組でも数軒の空き家が出てしまっている。確かに都市計画の中で新しいところを開発するのもいいが、空き家の対策はどのように考えていったらいいのか、ということもあると思う。
- ・ 地域役員の負担も結構問題が出てきていて、どんな役割分担にするのか地域と行政で考えることが必要ではないか。組長を定年制にしたらどうかという意見もあった。組や隣組の構成自体を考えていかななくてはいけない時期ではないか。

■ グループ③

- ・ ここでは峰原、町区、堀ノ内の方で話をさせていただいた。（発表者は峰原）
- ・ それぞれの区の活動の考え方があるが、堀ノ内はとても活性化されていて、子育てサロンや社協の敬老活動、他いろいろ含めて、区の役割を他の区のような捉え方でやっているのではなく、自分たちで考えてそれぞれが協力し合うようないい関係性ができている。社協は社協、子育ては何かではなく、区の中でしっかりと組織を作って動いていて活性化されている。若いお母さん方も積極的にいろいろされていて、いい町になってきましたよという話を伺った。
- ・ 町区や峰原だと、なかなかそううまくいかないところがある。峰原は特に区の在り方を考えなければならないと思う。団地に同じ世代が集まって240戸ぐらいあるが、団地が拡大しない限りこれからは1戸も増えない。あと20年、25年たつと気がついたら恐ろしいことが待っている。まるっきりゴーストタウン化すると思っている。区民みんなが老人になり、私の子ども世代が2世代目になるが、東京に出て2人とも帰ってこない。気がついたら老老介護の団地になりかねない。

- ・ そう考えると、若い方とのバランスが取れていることが大事ではないか。まだこれから開発できるところはいいが、峰原、みどり湖、松原では今以上の発展が見られなくて、今住んでいる人たちで何とかしていかなければならない区もある。どんどん人口が少なくなっているのだから、バランスを考えて今の区割りの変更をすることも必要。金井、上西条、下西条の皆さんもそうだと思う。現状の区にとらわれてやっていくことは無理だと思う。峰原は25年経ったらみんな70歳以上の人たちで区を担えるか。他の区が堀ノ内みたいにはできない。

- ・ 町区は4つの町内がうまくまとまらずにいるところがある、歴史的なものもある。それぞれいろんな課題があると思うが、町を良くしていくためにどうしなければいけないのか、市も含めて、区のあり方だったり、町のあり方だったり、考えながら進めさせていただきたい。

■ グループ④

- ・ 生活していく上での課題がたくさん話に出た。
- ・ 国道153号については、非常に危険であるという意見があった。二級国道になったということでバイパスもある。車道を少し縮めて、その分歩道をしっかり取ったらどうか。子どもの通学路でもあり、また、最近中山道を歩く方々が非常に多いということで、現状では側溝の蓋の上を歩いているような状況だが、しっかりと歩道を確保して、そのために車幅を狭めたらどうか。
- ・ 塩尻東小学校の校区は非常に人気があるということで、土地などがすぐに売れてしまうこともあるという話だった。市街化調整区域の線引きをもう少し見直しをしていただき、優良な農地も必要だがまだまだ開拓の余地があるのではないかな。
- ・ 国道から一歩入ると、道路が非常に狭い。車の行き違いも非常に困難な道が多い。道幅を広げるのは難しいかと思うので、宅地から出ている植木みたいなものが道路に出ないようにしっかりと指導していただき、切っていただくと車の通行等も通りやすくなるのではないかな。

■ グループ⑤

- ・ 地区の弱み・強みについて、私どもの区は組織体制が昔からしっかり作られていて、いろんな行事もやりやすい。若年層と高齢者との意見交換をする場がなかなか設けられなかったが、今年からそういう場を設けて、なかなかいい意見が出るようになった。
- ・ 道路関係ではよく建設課にお願いしているが、河川が近いせいかだいぶ大雨ででこぼこになって歩行できない。小学生が通学に使っている道路でもあるので、できるだけ早くアクションを取っていただきたい。
- ・ 各常会でいろんな意見が区の定例会に出ているが、一番困っているのは個々に意見を出されることなので、必ず常会長を通して話をしなさいとしている。常会長から出た問題については、区でよく話をしてお願いできるものときかないものを見極めて市に提出しているので、市の方も快く対応していただきたい。
- ・ 山を抱えているため、猪、熊、鹿、狸、狐と動物が最近非常に多い。地域の猟友会の人たちが、市からお借りしたサポーターで捕まえているが、困るのは子どもたちが通るところや、山治いの家があるところに出現すると非常に危険なところ。山を抱えている部署に市も力を入れていただきたい。
- ・ いろんな人の意見、意思の疎通がお互いにできる、そういうコミュニケーションが取れる機会を市で増やして欲しい。特に、これからは塩尻市も年齢層を見ると非常に高齢になりつつあり、若い人が少なくなっているのだから、区ばかりではなく、市としてもいろんなコミュニケーションの場所をお願いしたい。

■ グループ⑥

- ・ いろいろハード面の説明があったが、ソフト面において、塩尻東地区は本音で語れない土壤があると思っている。3世代で長く暮らしているご家庭や、いろいろ歴史あるご家庭も多い。
- ・ 塩尻東地区の運動会があるがあれはやめていただきたい。いい加減に十分やり尽くしたと思う。それがやめられない東地区に問題があると思う。
- ・ まちづくりの目標で、昨今の大雨対策として、浸水想定区域にある住宅は移転したらどうか。空き家問題と併せて整理したらどうか。
- ・ 国道153号が通過点になっているところは課題だと思う。
- ・ いろいろな資料があるが、他の地域のことがわからないので、何を基準に考えていいのか比較しないと難しい。

個人の発言

□ 個人①

- ・ 今日帰りにそこの道を通ってみてほしい。真っ暗なことが分かると思う。
 - ・ 塩尻中学校があって学生が通っている。真っ暗な中ここを歩いて、そこのトンネルを通過してやっとグリーンベルトに出て、街灯がある道に出る。とても危険だと思う。みどり湖はちゃんとしたゲートウェイのはず。こちら辺の子どもたちが高校生になって、みどり湖駅を使って諏訪の学校に行く、あるいは松本の学校に行く。でも、みどり湖への道は真っ暗で、中学校が外れにあるので、多分逆側も真っ暗ではないかと思う。
 - ・ 田んぼの周りで農家は嫌がるかもしれないが、ソーラーにして、LEDの街灯にすれば、害虫は集まらないはず。それを踏まえて説得とご協力を得ながら明るい町にしていきたい。私は岡谷出身だが塩尻駅前が暗くてびっくりしている。虫が集まったら困るだろうと思うが、こんな暗い町はない。せっかくの駅だし、せっかくの中学校なので、もう少し夜が明るい町にしていきたい。
-
-